

OB会通信

2010年度 第3号
大阪府立大学陸上競技部

拝啓

晩秋の候、小春日和が気持ちよい季節となりました。OB・OGの皆様はどの様にお過ごしでしょうか。私たち陸上部はシーズンの大半の試合を終え、来シーズンに向けて、日々冬季練習に励んでおります。

さて、今回は9月15日行われた六公立戦、24日に行われた関西学生対校女子駅伝、30日に行われたびわ湖駅伝予選会、10月19日～22日にかけて行われた学年別選手権を中心にご報告させていただきます。

敬具



びわ湖駅伝予選会を戦ったメンバー

目次

1. 主将挨拶

2. 主要試合結果報告

第41回関西六公立学生競技大会

第20回関西学生対校女子駅伝競走大会

びわ湖大学駅伝兼第72回関西学生対校駅伝競走大会予選会

第47回関西学生陸上競技学年別選手権大会

兼 第32回関西学生混成選手権大会

3. その他の試合結果

4. 今後の目標と反省

5. 連絡事項

1. 主将挨拶

今回のOB通信第三号では関西六公立大学総合競技大会、関西学生対校女子駅伝、びわ湖大学駅伝兼関西学生対校駅伝予選会、関西学生学年別選手権について報告させていただきます。

それらの試合に至るまでは、夏合宿や夏季休暇中の練習がありました。今年の夏合宿は8月16～19日まで鳥取県米子市と大山にて府大単独(全パート合同)で行いました。「酷暑」と叫ばれる中、部員一同練習に励んできました。

六公立戦では今年も勝利を収めることができました。兵庫県立大学に9点差をつけての勝利でしたが、私の思っていたよりも点差が近くて「危ないな」というのが正直な気持ちです。3年前には負けていますので、まだまだ油断はできません。

関西学生女子駅伝の府大単独チームとしての出場は私の知っている限り、初めてでした。昨年は大阪市立大学との合同チームでオープン参加し、今年は悲願の対校として戦いました。着実に女子パートも成長してきています。

びわ湖駅伝予選会は上位5校までが本戦出場の中、惜しくも8位でした。競技種目が10000mとなってから今年で3年目ですが、この3年間でチームとして一番速かったにも関わらず、本戦には行けませんでした。今回駅伝チームを引っ張り続けた駅伝パート長の北川(3)には部員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。

学年別選手権は今シーズン最後のトラック・フィールドの対校戦となりました。自己ベストも多数出ましたが、思い通りのパフォーマンスが出ず落胆する選手もいました。落胆して悩むことは良いことですが、悩みすぎず、反省を今後の練習のモチベーションとして欲しいと思います。

今回のOB通信は私が主将としての最後の投稿になります。一年間読んで下さったOB・OGの方々には感謝の気持ちを述べさせていただきます。また、応援に駆けつけて下さった方々にも感謝の意を述べたいと思います。

最後になりましたが、来年、再来年と府大陸上部はどんどん強くなっていきます。関西インカレで上位を狙い、近い将来に1部昇格を果たすと信じています。今後ともご指導の程よろしく申し上げます。

主将 阪口知己(3)

2. 主要試合結果報告

☆は自己ベスト、★は大学ベスト

第41回 関西六公立学生競技大会

9月15日(水) 金岡公園陸上競技場

今年も昨年と同様、女子の対校の部が行われました。

男子100m

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 中野智典 (大府大) 11" 0 | 2. 前山龍平 (大府大) 11" 1 |
| 3. 土橋哲明 (兵庫県大) 11" 2 | 4. 武本和馬 (兵庫県大) 11" 2 |
| 5. 有山歩 (京府大) 11" 9 | 6. 川本有亮 (京府大) 12" 4 |

大府大 11点 兵庫県大 7点 京府大 3点

スタートで飛び出した前山(1)が中盤までは1位だったが、中野(2)が持ち前のスピードを武器に中盤から前山を追い上げ、1位でゴールした。この後に前山が続き、府大でワシ・ツーフィニッシュを成し遂げた。

文責 西野駿作(2)

400m

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 中野智典 (大府大) 50" 4 | 2. 中原悠 (兵庫県大) 51" 8 |
| 3. 有山歩 (京府大) 52" 0 | 4. 土橋哲明 (兵庫県大) 52" 7 |
| 5. 小川潤 (大府大) 55" 5 | 6. 内海貴洲 (京府大) 58" 6 |

大府大 8点 兵庫大 8点 京府大 5点

小川(1)は前半から積極的にとぼしていき、前半200mを1位で通過した。しかし、コーナーからバテが見え始め、粘ることができなかった。スピードも持っている選手なので、これからの期待したい。中野(2)はインレーンから着実に順位を上げてゆき、2位と大きく差を開けてゴールした。自分のペースで走り、好感触のレースだったようだ。

文責 弓場大介(2)

男子 1500m

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 甲木孝弘 (大府大) 4' 10" 0 | 2. 神里良 (兵庫県) 4' 10" 6 |
| 3. 染谷健太 (兵庫県) 4' 11" 5 | 4. 武田大輝 (大府大) 4' 12" 5☆ |
| 5. 藤井廉 (京府大) 4' 25" 4 | 6. 小林靖幸 (京府大) 4' 50" 5 |

大府大 11点 兵庫県 11点 京府大 5点

レース開始直後から、甲木(2)が飛び出していき、レースを引っ張った。とくに、2周目は、後続を大きく引き離し、独走態勢となった。しかし、ラスト1周で力をためていた兵庫県立大学の選手が猛追し、ゴール直前に追いつかれてしまった。なんとか最後は気合で競り勝ち、見事1位になることができた。一方、武田(3)は他大学の選手に食らいついていき、最後まで粘りのある走りを見せ、自己ベストを大きく更新した。

びわ湖駅伝予選会もこの勢いで、走ってもらいたい。

文責 西村実希子(2)

5000m

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 北川拓哉 (大府大) 15' 35" 8 | 2. 胸永拓也 (兵庫県) 15' 38" 5 |
| 3. 大隅直規 (兵庫県) 15' 46" 3 | 4. 黒岩大輔 (大府大) 16' 11" 7★ |
| 5. 藤井廉 (京府大) 16' 42" 5 | 6. 佐藤優穂 (京府大) 17' 40" 0 |

大府大 9点 兵庫県 9点 京府大 3点

激しい夕立の中、まず北川(2)が先頭でレースを引っ張る形となり、黒岩(1)は集団の真ん中に位置取った。暫くそのままであったが、3000mあたりで、それまで北川(2)の後ろを走っていた兵庫県立大の2人が前に出た。しかし、焦ることなくその2人の後ろに付き、ラスト1周に差し掛かったときに、一気にかわしてそのままゴールし、見事に6点を獲得した。黒岩(1)は3000mを越えてから、少しペースダウンしたもののフォームを崩すことなく、自分のペースを維持し、ベストを更新した。両者共に周りに乱されることなく安定した走りを見せてくれた。

文責 小池徳子(2)

スウェーデンR

1. 大阪府立大学（前山（1）－中野（2）－松本（研）－大継（3））
1' 58" 6 府大新！！
2. 兵庫県立大学（河本－武本－土橋－中原） 2' 00" 2
3. 京都府立大学（内海－小林－佐藤－有山） 2' 12" 6

大府大 9点 兵庫県大 6点 京府大 3点

1走の前山（1）は上々のスタートで前の京都府大を捉え、中野（2）にバトンを繋ぐ。中野は疲れを感じさせない走りで松本（研）へ。松本は粘り強い走りで兵庫県大に食らいつきほぼ同時にアンカーへバトンパス。アンカーの大継（3）は前半では兵庫県大と拮抗していたが後半の伸びで兵庫県大をつき離し、1着でゴールし府大新記録を出した。

文責 赤坂柁典（2）

走高跳

1. 田中英和（大府大） 2 m 0 0
2. 渡部翔太（大府大） 1 m 8 0
3. 川井夢人（兵庫県大） 1 m 7 0
4. 小林靖幸（京府大） 1 m 6 0
5. 川本有亮（京府大） 1 m 4 5

大府大 11点 兵庫県大 4点 京府大 5点

渡部（2）は好調とはいえず、ベストとはほど遠い記録で終わってしまった。また、田中（1）は関西インカレ以来、跳んでいなかった2mを跳ぶことができ、夏季の練習の成果がさっそく見られた。2人で1位、2位をとることができ府大に大きく貢献した。

文責 山中敬雄（2）

走幅跳

1. 山中敬雄（大府大） 6 m 5 3
2. 野本健太（大府大） 6 m 4 8
3. 土橋哲明（兵庫県大） 6 m 2 0
4. 川井夢人（兵庫県大） 5 m 6 7
5. 内海貴洲（京府大） 5 m 4 5
6. 藤井廉（京府大） 4 m 2 3

大府大 11点 兵庫県大 7点 京府大 3点

大府大の二人は調子が悪い中1、2位を確保した。山中（2）が3回、野本（1）が2回とファールが目立った内容だった。山中が踵の古傷と野本が太もものケガを完治させた次の試合に期待したい。

文責 渡部翔太（2）

砲丸投

1. 西野駿作 (大府大) 13m82☆
2. 中林達紀 (兵県大) 11m39
3. 渡邊星矢 (兵県大) 10m64
4. 二反田松平 (大府大) 9m62
5. 川元有亮 (京府大) 7m10
6. 有山歩 (京府大) 5m25

大府大 9点 兵県大 9点 京府大 3点

西野(2)は自己ベストを大きく更新させる投擲(今大会は非公認試合であるが)を見せ、貫録の優勝。他大学との合同練習の成果が見られた。二反田(M1)はまずまずの投擲であったが、兵県大の上位2名を超えるまでには至らなかった。

文責 中野智典(2)

やり投

1. 中林達紀 (兵県大) 45m25
2. 内海貴洲 (京府大) 44m08
3. 山中敬雄 (大府大) 39m26
4. 川井夢人 (兵県大) 37m98
5. 二反田松平 (大府大) 35m90
6. 佐藤優穂 (京府大) 24m88

大府大 6点 兵県大 9点 京府大 6点

山中(2)は、1位2位には及ばなかったものの、自己ベストを出す投擲をした。二反田(M2)は、少し力みが出て思うような投擲が出来なかったようなので、今後の試合でのリベンジに期待したい。

文責 山下翔平(2)



走り高跳びを跳ぶ渡部(2)

女子100m

- | | | | |
|---------------|--------|----------------|--------|
| 1. 青木洋美 (京府大) | 1 3" 3 | 2. 中村綾子 (兵県大) | 1 3" 5 |
| 3. 杉山沙織 (兵県大) | 1 4" 2 | 4. 大竹朋子 (京府大) | 1 4" 5 |
| 5. 小川瑠美 (大府大) | 1 4" 8 | 6. 関岡由希子 (大府大) | 1 5" 0 |

大府大 3点 兵県大 9点 京府大 9点

府大からは中距離専門の小川（3）と関岡（2）が出場した。専門外の種目ということでスタートの技術などに不安を残しながらも、懸命に走った。夏に短距離専門の女子選手が入ったこともあり、今後は2人の活躍も楽しみだ。

文責 西野駿作（2）

女子1500m

- | | | | |
|----------------|-----------|----------------|-----------|
| 1. 小川瑠美 (大府大) | 4' 57" 3☆ | 2. 南條愛 (兵県大) | 4' 58" 3 |
| 3. 谷口彩子 (兵県大) | 5' 05" 4 | 4. 関岡由希子 (大府大) | 5' 06" 5☆ |
| 5. 三須麻里絵 (京府大) | 5' 13" 2 | 6. 庵原瑞穂 (京府大) | 5' 25" 9 |

大府大 9点 兵県大 9点 京府大 3点

小川（3）関岡（2）ともに、スローペースでのスタートとなった。とくに、小川は1周目は先頭と大きく離れてしまった。先に、関岡の方がスピードを上げ、兵庫県立大学の選手を追いかける形となった。徐々に、先頭のペースが落ちる中、小川は一定のペースを保ち、追い上げていき、ラストは競り勝ち1位を獲得した。さらに、自己ベストも更新した。関岡も粘りのある走りをし、4位という結果に終わったものの、自己ベストを大きく更新した。

文責 西村実希子（2）



ゴール前でスパートを走る小川（3）

総合成績

	大阪府立大	兵庫県立大	京都府立大
男子トラック合計	43	36	14
男子トラック順位	1	2	3
男子フィールド合計	37	29	17
男子フィールド順位	1	2	3
女子得点	12	18	9
総合得点	92	83	43
総合順位	1	2	3

オープンの部

100m	吉武信二(部長)	12" 1
	穂西俊弥(3)	11" 7
	伊吹惇(3)	11" 5
	阪口知己(3)	11" 4
	山中敬雄(2)	11" 1
	渡部翔太(2)	11" 2
	奥野照基(1)	12" 1
	保科政幸(1)	11" 7

1500m	木村和史(4)	5' 23" 2
	野々口諒一(4)	4' 17" 8
	山本裕章(4)	5' 05" 4

5000m

<男子>

西濱大祐(M1)	16' 02" 1
逢坂良樹(4)	16' 52" 0
野々口諒一(4)	16' 07" 6
林伸明(4)	16' 55" 0
藤原英司(4)	16' 33" 1
赤坂柁典(2)	17' 12" 0
甲木孝弘(2)	15' 39" 1
山下翔平(2)	16' 55" 5

<女子>

大石真由香 (3) 1 9' 0 1" 4

西村実希子 (2) 1 9' 0 7" 1

前田梨奈 (1) 2 0' 3 6" 7

走幅跳

二反田松平 (M1) 5 m 8 5

谷口裕幸 (4) 6 m 3 3

新田真也 (4) 6 m 4 9

伊吹惇 (3) 4 m 8 6

大継伸和 (3) 6 m 1 4

弓場大介 (2) 5 m 4 3

矢野達哉 (1) NM

走高跳

平野明 (OB) 1 m 6 0

二反田松平 (M1) 1 m 6 0

スウェーデンR

大阪府立大 (小川一関岡一大石一前田) 2' 5 5" 0

<応援・競技参加に来てくださったOB・OGの皆様>

吉武信二先生、平野明さん、西濱大祐さん、二反田松平さん、松本和也さん

お忙しい中ありがとうございました。

第 20 回 関西学生対校女子駅伝競走大会

9月25日(土) 神戸しあわせの村

天候 晴れ 気温 23.5℃

昨年は大阪市立大学との合同チームでの出場であったが、今年は新入生が一名入部したため、念願の大阪府立大学単独での出場を果たしました。首都大戦後から中・長距離がともにこの日のために練習に励んできました。

総合結果

大阪府立大学 1° 58' 49" (18位/19校中)

個人結果

第 1 区 3.9 km

関岡由希子(2) 15' 03" (区間16位)

第1区は昨年と同じく関岡(2)が走った。前半は後方の集団に着き、後半で阪大をかわし、19チーム中16位(オープンを除く)で襷を繋いだ。タイムは昨年から45秒縮めることができ、後の組に良い流れを作れた。

文責 甲木孝弘(2)

第 2 区 3.3 km

小川瑠美(3) 12' 29" (区間15位)

第2区は中距離専門の小川(3)が走った。昨年もこの第2区を走った経験を活かして、粘り強い走りを見せた。本人は記録を昨年よりも1秒しか伸ばせなかったことに悔しがっており、来年の雪辱を誓っていた。

文責 中野智典(2)

第3区 6.5 km

大石真由香（3） 25' 29" （区間18位）

はじめは勢い良かったが、夏の走り込みが足りないために足が重く、2周目から苦しい走りとなってしまった。ラストは西村（2）にいい流れで渡せた。

文責 渡部翔太（2）

第4区 6.5 km

西村実希子（2） 25' 40" （区間16位）

エースの大石（3）から襷を受け取った西村（2）は前半、まずまずの走りを見せ、後半は前を走る京都大学を猛追するが、あと一步のところまで京都大学を捉えることが出来ず、本人にとって悔いの残るレースとなってしまった。来年のリベンジに期待したい。

文責 赤坂柁典（2）

第5区 3.3 km

小池徳子（2） 13' 27" （区間15位）

5区の小池（2）は序盤、前を走っていた京都大学の前に出て、積極的なレース展開を見せるが、終盤に離されてしまう結果となってしまった。6区の前田（1）まであと少しというところで無情の繰り上げスタートの号砲が鳴り響き、襷を繋ぐことは出来なかった。

文責 赤坂柁典（2）

第6区 6.5 km

前田梨奈（1） 26' 41" （区間16位）

惜しくも襷はつながらず一斉スタートとなったこの6区、前田（1）は序盤集団にうまくついて中盤からはあげていく理想的なレースとなった。これからの伸びを期待できるような走りであった。

文責 山下翔平（2）



3区を走るエースの大石（3）

<応援に来てくださったOB・OGの皆様>

渡辺彰雄さん、木下健次さん、雲財康夫さん、岡本真さん、二反田松平さん
松本和也さん

お忙しい中ありがとうございました。

びわ湖大学駅伝兼

第72回 関西学生対校駅伝競走大会予選会

9月30日(木) 滋賀県 皇子山陸上競技場

天候 雨のち曇り 気温 16.2℃

今年は昨年より1校増えた全17校で行われ、各チーム上位8名の10000mの合計タイムで競い合いました。今年も多くOB・OGの方々に来て頂き、ありがとうございました。雨が降ったこともあいまって、気温が大幅に下がり、厳しい中でのレースとなりました。出場選手10名中7名が自己ベストを更新し、総合タイムも過去3年で最も速かったにも関わらず、予選突破は叶わず、悔し涙を流す結果となりました。今回の結果をバネに頑張っていきますので、今後ともよろしくお願いします。

試合結果

大阪府立大学 4° 23' 03" 88 (8位/17校中)

個人結果

第1組

逢坂良樹(4) 33' 45" 01 組9位

林伸明(4) 34' 07" 79 組13位

少しスローペースで始まり、その後集団は二分されたが、二人とも前の集団に付いていた。4000mを越えてからペースが上がってきて、逢坂(4)が集団から離れてしまった。しかし、逢坂は粘って、阪大に付いていき、ペースを維持した。一方、林(4)は、集団に付いていくが、5000mを越えたところでまたペースが上がり、とうとう離れてしまう。そして、一人旅となってしまうさらに苦しくなった。逢坂は一年以上怪我に悩まされ、やっと復帰したばかりであり、また林は就職活動や研究の合間を縫って練習に励んできた。その中で、逢坂は粘りの走りで、林は前に付いて行くという強い想いで走りきったレースであった。

文責 小池徳子(2)

第2組

武田大輝（3） 33' 35" 48☆ 組11位

赤坂柁典（2） 34' 16" 51☆ 組18位

第2組は飛び出した選手が一人いたが、あとは集団となってレースが展開された。武田（3）は第三集団の前を位置取り6000mまで走った。その後少し苦しそうな表情を見せ集団がバラバラになったところで離れてしまった。しかし最後は粘りの走りを見せ、大幅にベストを更新してゴールした。赤坂（2）は第4集団につき集団を引っ張ることもあったが、4000mをすぎたあたりから一人旅となる。その後最後までペースを落とすことなく確実に一定のペースを刻み34分台でゴールした。

文責 関岡由希子（2）

第3組

黒岩大輔（1） 32' 51" 69☆ 組8位

最初、一周85秒というスローペースで始まったが、すぐに集団のペースは上がった。しかし、集団はなかなかバラバラにならず、長い列を成していた。そんな中、黒岩（1）は持ち前の安定したフォームで前を見据え、集団に付いていった。4000mでさらにペースは上がり、それにも付いていったが、6000m手前で離れてしまう。しかし、6人程の集団の中で走り、ペースを維持した。終盤、離れてしまい1人になってしまい、ペースを落としかけたが持ち直し、32分台を叩き出した。

文責 小池徳子（2）

第4組

西濱大祐（M1） 32' 11" 50 組9位

藤原英司（4） 33' 04" 36☆ 組14位

スタート時の位置取りが激しく、スタート直後に、大きく3つの集団に分れた。西濱は第一集団、藤原は第三集団についた。6000mぐらいから、集団が崩れ始め、2人とも徐々に集団から離され、1人旅となってしまった。しかし、個人の記録としては、納得のいく結果であった。

文責 西村実希子（2）

第5組

野々口諒一（4） 33' 03" 40☆ 組21位

甲木孝弘（2） 32' 34" 19☆ 組15位

出だしから飛び出だしていく第一集団に甲木（2）がくらいついた。だんだん集団が少なくなっていくなか粘りをみせたが、6000mをこえてからはなれる。その後ペースは落ちたもののなんとか保とうとねばりを見せ32分台でゴールした。野々口（4）は第2集団につくものの集団がバラバラになってしまったが、一人で走らないよう目標をそのつど見つけて走っていた。途中ペースが落ちることはあったもののきちんと持ち直してゴールした。

文責 関岡由希子（2）

第6組

北川拓哉（3） 31' 58" 25☆ 組19位

各大学のエースが集結した組だけあって、始めは大きな集団で走っていた。タイムもイーブンに刻んで5000mくらいまで第一集団についていたが、その後、離れてしまった。走りからは、疲れは見られなかったが、徐々にペースが落ちていった。パート長エースとしてしっかりした走りを見せ、自己ベストを更新した。

文責 西村実希子（2）



10000mを走る2組の武田（3）（左から3人目）

<応援に来てくださったOB・OGの皆様>

木村顕夫さん、篠一弘さん、久保知士さん、佐野肇さん、澤善弘さん

千住哲平さん、富永明日香さん、黒川雄司さん、西濱大祐さん、二反田松平さん

お忙しい中ありがとうございました。

第47回

関西学生陸上競技学年別選手権大会

兼 第32関西学生混成選手権大会

10月19日～22日 長居第2陸上競技場

グランドコンディション

10月19日 天候 晴れ 24.4℃

10月20日 天候 曇り 23.3℃

10月21日 天候 曇り 21.9℃

10月22日 天候 曇り 23.0℃

男子100m

谷口裕幸 (4)	予	11" 11	(+0.2m)	(4着)
伊吹惇 (3)	予	11" 74	(-1.1m)	(7着)
大仲健司 (1)	予	12" 38	(±0.0m)	(6着)
奥野照基 (1)	予	12" 29	(-1.2m)	(7着)
前山龍平 (1)	予	11" 09	(±0.0m)	(2着)
	準	11" 16	(-0.6m)	(5着)

公認の試合が大学初の選手も多かった100m。谷口(4)はスタートで少し出遅れたものの、後半伸びを見せゴール。記録自体はそこまで悪いものでもなかったが本人は少し不満の残るレースとなったようだ。伊吹(3)はスタートから思ったようにスピードに乗れず不完全燃焼な形でゴールしたようだ。大仲(1)は初試合から体が緊張し、本来の力を出し切れなかったようだ。奥野(1)も粘りある走りを見せたが、向かい風と緊張も相まってベストからはやや遅れた記録となってしまった。前山(1)は出足鋭いスタートで加速し、見事自己ベストをたたき出し準決勝に進出した。予選で府大記録にせまる勢いをみせたので、準決勝でも記録に期待したが、風が悪く力んでいたために、いい走りができず予選のタイムを上回れず準決勝で終わってしまった。今年初の試合だったので来年に期待できる内容だった。

文責 中野智典(2)・渡部翔太(2)

男子200m

中田洸樹（3） 予 22" 87 （+1.7m）（4着）
中野智典（2） 予 22" 22 （+2.1m）（2着）
決 22" 11☆（±0.0m）（第4位）

中田（3）は、今シーズンは怪我に悩まされ、思うような練習を積むことができなかった中で、本人も満足のいく走りをする事ができた。中野（2）の組はレベルが高く、後半にばててしまったものの、周りに引っ張られてベストを出し、決勝に進むことができた。予選8位通過した中野であったが、決勝では前半からとばしていき、自己ベストを更新して4位になることができ、更に関西ICの標準記録を突破することができた。

文責 西村実希子（2）・山中敬雄（2）

男子400m

大継伸和（3） 予 49" 87（2着） 決 49" 47（第7位）
松本和也（4） 予 50" 54（3着）

大継（3）はあまり調子は上がってない様子であったが、今回も安定した走りを見せ、見事決勝進出となった。松本（4）も、決勝進出とはならなかったが初めから攻めて後半粘る良い走りを見せた。決勝で大継はまずまずのスタートで後半に持ち前のストライドでスパートをかけたが、最後まで先頭を捉えることができず、悔しい7位でのフィニッシュとなった。

文責 赤坂征典（2）・山下翔平（2）

男子800m

木村和史（4） 予 2' 05" 25（8着）
武田大輝（3） 予 2' 00" 30（3着） 準 1' 59" 56☆（5着）
決 1' 59" 24☆（第8位）

予選は、まず武田（3）が3番手に位置取り、木村（4）は最後尾から追う形となった。そこから、木村は追い上げ、2周目に差し掛かるときには、トップに躍り出た。しかし、後半惜しくもバテてしまった。武田は中盤後ろに下がったものの、ペースを落とすことなく順位を上げ、ベストに近いタイムで準決勝に駒を進めた。準決勝、武田は前半から集団に着き、レースを進めるが、400mを56秒のハイペースが影響し後半は離されてしまったが、粘りある走りで見事自己ベスト更新と決勝進出を果たした。決勝では準決勝同様、前半から集団に着き、後半粘りを見せるという、レース展開で再び自己ベスト更新を果たした。

文責 赤坂征典（2）・小池徳子（2）

男子1500m

黒岩大輔（1） 予 4' 17" 62★（8着）
佐原敏基（1） 予 4' 41" 97☆（10着）
甲木孝弘（2） 決 4' 05" 22（第7位）
野々口諒一（4） 決 4' 09" 24（第8位）

黒岩（1）は前半、集団の中盤に位置し、レースを進める。後半になり先頭のペースが上がると徐々に先頭から離されてしまったのレースとなった。佐原（1）は集団について行っていたが600m付近から先頭のペースアップについて行けなかった。それでも自己ベストを更新することができた。甲木（2）は先頭の集団につき、4分も切れそうなペースで回っていたがラスト300mで失速、それでも最後まで粘り切り7位入賞となった。野々口（4）は先頭の集団に着いていくも、後半ペースが上がり着いていけなくなってしまふ。しかし、ラストも追い上げてくる後続をしっかり振りきり8位入賞となった。

文責 赤坂証典（2）・山下翔平（2）

男子5000m

山下翔平（2） 決 16' 58" 54（13着）

山下（2）は最初の1000mを3分10秒で通過し、その後3000mまで3分20秒のペースで後方の3人の集団に着いた。3000m以降は苦しい走りとなり、フォームもばらつき、一気にペースが落ちてしまった。15分台を狙っていたが後方の集団に着いており、消極的なレースに思えた。

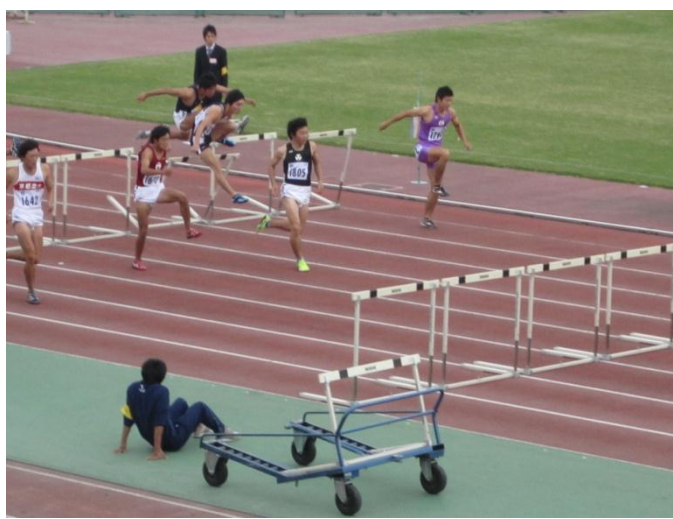
文責 甲木孝弘（2）

男子110mH

内賀嶋陽史（1） D S Q

全日本ジュニアに出場した勢いそのままに110mHに臨んだ内賀嶋（1）。スタートから勢いよく飛び出し、他の選手を圧倒。そのまま1位でゴールするかと思われたが最終ハードルでまさかの転倒。それが他走者のレーン侵害とみなされ悔しいD S Qとなってしまった。すでに全日本学生個人の標準も切っているだけに来季に期待したい。

文責 中野智典（2）



110mHを走る内賀嶋（1）（右から2人目）

男子400mH

小川潤（1）	予	58" 48	（5着）
大継伸和（3）	予	55" 30	（3着）
	決	53" 97	（第4位）

小川（1）は前半を軽快なハードリングで良いレースをしていたが、後半にはバテが出てしまい失速した。粘りという課題が見えているので、来シーズンに期待したい。大継（3）は予選ではスピードとインターバルの歩数がかみ合わず、詰まってしまい前半に体力が余っていたようだ。後半、特にラスト100mでは持ち前の粘りで順位を上げてゆき、3着でゴールした。決勝にタイムで拾われた。決勝では、インターバルがはまり、前半からスピードに乗れていた。後半でも失速することなく、前の選手にくらいついていった。ラストも粘ることができ、念願の53秒台でゴールすることができた。

文責 弓場大介（2）

男子3000mSC

北川 拓哉（3）	決	9' 47" 51	（第5位）
----------	---	-----------	-------

午前中に降った雨の影響で少し気温の低いコンディションの中、始まった。最初の1000mは4人程の集団で走っていたが、1000mを越えてから、少し離れてしまった。前後の選手と少し距離があったため、ペースが若干落ちたものの、安定したフォームで走り切った。ベストを出すことは叶わなかったが、コンディションが多少悪くとも、40秒台は安定して出せることがわかったレースであった。

文責 小池徳子（2）

男子4×100mR

大阪府立大学A (山中(2)―谷口(4)―中野(2)―前山(1))

予 DSQ

大阪府立大学B (中田(3)―矢野(1)―小川(1)―伊吹(3))

予 44" 27 (4着)

今回の大会では故障をしている人も少なく、大阪府立大学Aはベストメンバーでこの試合に挑むことができた。しかし、3走の中野(2)は急成長を遂げている4走の前山(1)に対して歩数の調整が難しくバトンを渡せなかった。大阪府立大学Bは即興のメンバーにも関わらずバトンパスに成功した。この大会のリレーを通じて短距離陣のレベルアップを感じた。

文責 西野駿作(2)

男子4×400mR

大阪府立大学 (松本(研)―中野(2)―谷口(4)―大継(3))

予 3' 20" 24 (2着)

1走の松本(研)は前半からペースを上げ、前を追って2走の中野(2)へ。中野も後半、粘りある走りを見せ、前との差を詰める。3走の谷口(4)はラストのスパートで2番手に上がりアンカーの大継(3)へバトンパス。大継は先頭を猛追するが最後まで捉えることができず、決勝進出はならなかった。

文責 赤坂証典(2)

走高跳

田中英和(1) 決 2m05☆ (第1位)

渡部翔太(2) 決 1m90 (第8位)

田中(1)は、試合前日までの調整を上手にし、当日も高い集中力で臨むことができた。2mを2本目で成功し、2位になった田中であつたが、2m05を1本目で決め、1位を獲得した。この記録は府大歴代タイ記録である。渡部(2)は、田中の記録を見た後で、緊張していたからか、自分の力を出し切れなかった。しかし、渡部は、かなりポテンシャルの高い選手であるため、冬季を乗り越えた来シーズンに期待。

文責 山中敬雄(2)

走幅跳

保科政幸（１）	決	6 m 2 0	(+ 1. 8 m) ☆	(2 1 位)
野本健太（１）	決	6 m 1 7	(+ 1. 7 m)	(2 2 位)
山中敬雄（２）	決	6 m 0 8	(+ 2. 2 m)	(1 5 位)
新田真也（４）	決	6 m 3 9	(+ 1. 5 m)	(2 2 位)

保科（１）は夏ごろから故障明けで練習を再開し、短距離陣にも負けにくいぐらいの脚力をつけており、それを見事に活かし自己ベストを跳んで見せてくれた。野本（１）は緊張のためなかなか足が合わず苦しんだ。本人は悔しがっていたようだ。次は自己ベストで飾ってほしい。山中（２）は１日目に三段跳び、２日目に４継とハードなスケジュールで迎えた３日目で、なかなか足が合わなかった。いつもなら調整できるのだが疲れも来ていたのであるうかうまく修正できずに終わってしまった。本人は悔しさをバネに冬季は頑張ると言っていたので楽しみである。新田（４）は最後の大きな試合ということで府大記録を狙っていたのだが、なかなか思ったような跳躍はできずに終わってしまった。本人は楽しんでいるようだったので最後の試合としてはベストこそ出なかったもののふさわしかったように思う。

文責 西野駿作（２）

三段跳

矢野達哉（１）	決	1 4 m 1 0	(+ 0. 6 m)	(第 3 位)
山中敬雄（２）	決	1 4 m 4 8	(+ 1. 0 m)	(第 6 位)

矢野（１）は始めから調子がわるい様子だった。踏切位置が安定せず板を全く踏めていなかった。３位に入賞できるも納得のいかない試合となってしまった。山中（２）は助走が不安定で１本目の記録がそのまま残る、といった結果になってしまった。

文責 渡部翔太（２）

砲丸投

西野駿作（２）	決	1 3 m 0 3	(第 5 位)
---------	---	-----------	----------

さきの六公立戦で自己ベストを更新して波に乗っている西野（２）であったが、調子がよくなかったのか綺麗な投擲を見ることができなかった。しかし、確実に実力についてはついてきている様にみえる。冬季を乗り越え、さらに強化された西野に期待したい。

文責 山中敬雄（２）

十種競技

二反田松平 (M1) 5288点 (20位)

100m: 11" 60 (732)

フライングがあり、スタートはやや硬くなりそうであったが、なかなかのスタートを見せた。好調に思われたが、そこから伸びがやや足らずに3着と100分の1秒差で4着となった。しかしそれほどタイムも悪くないので、他の競技に期待したい。

文責 弓場大介 (2)

走幅跳: 6m21 (+1.0m) (632)

いい踏切位置で良い跳躍できたので、本人も納得の結果となり、次の種目で以降への良い流れを作ることができた。

文責 渡部翔太 (2)

砲丸投: 9m39 (449)

1投目は8m97cmであったが2、3投目と本来の調子を徐々に上げ、3投目に9m39cmを記録した。

文責 赤坂柁典 (2)

走高跳: 1m70☆ (544)

横のスピードを上に変えることができ、ベストがでる結果になった。

文責 渡部翔太 (2)

400m: 53" 97 (641)

初日最終種目。この日、調子の良かった二反田 (M1) は400mでもベストをだし、初日を締めくくることができた。

文責 山中敬雄 (2)

110mH: 17" 23 (600)

2日目最初の競技。いつも以上に1日目の疲れが残っていたようでベストから0.7秒程度遅れるゴールとなった。

文責 中野智典 (2)

円盤投: 26m71 (400)

1投目はなかなかの投擲を見せた。2投目では気合の入った投擲を見せこれが記録となった。3投目はファールとなってしまう悔しそうにしていた。

文責 弓場大介 (2)

棒高跳：2 m 8 0 （3 0 9）

前日の疲労や練習不足の影響からか、自己ベストを更新することはできなかった。しかし、手堅く試技を重ね2 m 8 0 c mで試技を終了した。

文責 赤坂柁典（2）

やり投げ：3 9 m 7 0 （4 3 8）

いつも以上に疲れていたようで、4 0 mを超えることはできなかった。

文責 甲木孝弘（2）

1 5 0 0 m：5' 0 2" 9 1 （5 4 3）

前半は集団の真ん中あたりを走っていたが、2周目に入るとこれまでの疲労の為か、腕が上がり、苦しそうであった。ペースが落ちてしまい、4分台にはほんのわずか2秒届かなかったが、粘りの走りを見せた。

文責 小池徳子（2）

女子100m

草西佑美（1） 予 1 5" 7 8 ☆（+0. 7 m） （8着）

草西（1）は不安のあったスタートも成功し、後半やや失速しながらも粘ってゴール。今後さらなる成長が期待される。

文責 中野智典（2）



1 0 0 mを走る草西（1）

女子200m

石井あかり（1） 予 31" 67☆（+2.2m） （9着）

大学初の試合で緊張していたためか、ゴール直後にこけてしまった。羽曳野キャンパス生ということもあり、なかなか練習を積むことができないが、夏の合宿の効果も出て、波に乗った走りができた。数少ない女子短距離選手として、これからの活躍が楽しみである。

文責 西村実希子（2）

女子800m

関岡 由希子（2） 予 2' 31" 90 （3着）

小川 瑠美（3） 予 2' 25" 01 （5着）

関岡（2）は1周目、後ろを他校の選手にピッタリと付かれたが、しっかり前を見据え、2周目に入ったときに引き離した。しかし後半、バテたようで少しフォームが小さくなった。1周目は71秒で走っていたので、後半に課題が見つかったレースとなった。小川（3）は周りにあまり流されずに、前半は後方で走り、2周目に1人かわし、持ち味の1つである後半の粘りを見せて、見事セカンドベストを出した。前を走っていた選手を抜かすことが出来たら、決勝進出という惜しい結果であった。

文責 小池徳子（2）

女子1500m

前田梨奈（1） 予 5' 07" 79 （8着）

小川瑠美（3） 予 5' 02" 60 （11着）

前田（1）は積極的について走るが、集団がスピードをあげ少し離れる。しかし、ラスト1周で切り替えぐんぐんスピードをあげると、最後まで前を走る選手をしっかりとらえてゴールした。小川（2）はスタートして集団の後ろについて走る。集団から離れそうになりながらも持ち前のねばりでくらくらいつく。前の選手に引っ張られながらゴールするが惜しくもベスト更新とはならなかった。

文責 関岡由希子（2）

<応援に来てくださったOB・OGの皆様>

岡本真さん、二反田松平さん、松本和也さん、山田静さん

お忙しい中ありがとうございました。

3. その他の試合結果

第2回北和記録会

3月30日 鴻ノ池陸上競技場

100m 阪口知己(3) 11" 68 (+2.3m)

200m 阪口知己(3) 23" 95 (+0.6m)

第78回奈良県陸上競技選手権大会

5月4～5日 鴻ノ池陸上競技場

100m 阪口知己(3) 11" 65☆ (-0.9m)

200m 阪口知己(3) 23" 49☆ (+1.2m)

名阪戦

5月29日 枚方陸上競技場

100m 阪口知己(3) 11" 81 (-2.7m)

200m 阪口知己(3) 23" 86 (+0.8m)

第1回尼崎ナイター記録会

6月5日 尼崎市記念公園陸上競技場

100m 伊吹惇(3) 11" 78☆ (-0.1m)

中野智典(2) 11" 24 (-2.3m)

200m 中野智典(2) 22" 41 (+0.4m)

堺市種目別選手権

6月13日 金岡公園陸上競技場

5000m 山下翔平(2) 16' 25" 03☆

第78回大阪府陸上競技選手権大会

6月26日 長居第1陸上競技場

走高跳 田中英和 (1) NM
三段跳 矢野達也 (1) 13m80 (0.0m)

第2回尼崎ナイター記録会

6月26日 尼崎市記念公園陸上競技場

100m 中野智典 (2) 11"29 (0.0m)

奈良県民体育大会 (非公認)

7月4日 橿原陸上競技場

100m 阪口知己 (3) 11"57

第78回京都府陸上競技選手権大会

7月10～11日 西京極陸上競技場

100m 阪口知己 (3) 11"60 (+0.6m)

200m 阪口知己 (3) 23"57 (-1.2m)

三商戦

7月10日 金岡公園陸上競技場

1500m 小川瑠美 (3) 4'58"76☆

第78回兵庫県陸上競技選手権大会

7月9～11日 ユニバー記念陸上競技場

200m 中野智典(2) 22"79 (-1.3m)

3000m 大石真由香(3) 10'47"04

第78回和歌山県陸上競技選手権大会

7月17～18, 24日 紀三井寺公園陸上競技場

走幅跳 新田真也(4) 6m84 (+3.1m)

第3回尼崎ナイター記録会

9月4日 尼崎市記念公園陸上競技場

100m 伊吹惇(3) 11"73 (-0.2m)

中野智典(2) 11"19☆ (-0.2m)

200m 伊吹惇(3) 24"31 (-1.8m)

中野智典(2) 22"78 (-1.4m)

第19回姫路陸上競技選手権大会

9月11日 姫路市立陸上競技場

4×100mR (山中(2) - 谷口(4) - 中野(2) - 伊吹(3)) 43"04

茨木市体育協会杯陸上競技大会

9月11日 万博記念競技場

走高跳 田中英和(1) 1m95

関西学生長距離強化記録会

9月23日 尼崎市記念公園陸上競技場

5000m 甲木考弘 (2) 15' 37" 56 ★
山下翔平 (2) 17' 08" 91
黒岩大輔 (1) 16' 32" 81

第4回奈良市記録会

9月23日 鴻ノ池陸上競技場

100m 阪口知己 (3) 11" 64 (+0.3m)
11" 68 (+1.4m)
200m 阪口知己 (3) 23" 82 (+1.0m)

兵庫県秋季記録会

10月2～3日 ユニバー記念陸上競技場

200m 阪口知己 (3) 23" 54 (+1.2m)
5000m 大石真由香 (3) 18' 53" 03

堺市民オリンピック (電気時計, 非公認)

10月11日 金岡公園陸上競技場

100m 伊吹惇 (3) 11" 56 ☆
3000m 前田梨奈 (1) 11' 23" 5

第5回奈良市記録会

10月11日 鴻ノ池陸上競技場

100m 阪口知己 (3) 11" 57 (+0.1m)
11" 51 (+1.2m)

第6回奈良市記録会

10月23日 鴻ノ池陸上競技場

100m 阪口知己(3) 11"40☆ (+1.7m)

200m 阪口知己(3) 23"01☆ (+1.7m)

4. 今後の目標と反省

短距離パート

今年は夏場連日の猛暑で、特に合宿明けは怪我も重なり、やや思うような練習は全体としては積めなかったかもしれません。しかし、9月後半からは徐々に涼しくなり、みなコンディションを上げていくことができ、学年別ではそれぞれ持てる力をしっかり発揮できたと思います。

今年は関西インカレで得点を多く伸ばし、全日本ジュニアに出場する選手も出ました。そのため、関西インカレ・学年別に出場するだけでなく、決勝に残る、表情台に上るといったところを目指し始めました。今年はまだ道半ばでしたが、来年も必ず飛躍的に競技力を向上していけるとと思います。

大阪府立大学陸上競技部は初心者の人からインターハイ選手まで入ってきたときの競技レベルは様々です。その中でできるだけ温度差が出ず、みんなが競技力を向上していくことが大切だと思います。この試合で短距離パート長は交代となりますが、今後も1選手として陸上部を盛り上げていきたいと思っています。

文責 短距離パート長 中田洸樹（3）

中距離パート

首都大戦以降、中距離パートのメンバーは長距離とともにびわ湖駅伝予選会、関西女子駅伝に向けて練習を積んできました。専門種目ではないものの、各自夏の走りこみで確実にレベルアップし、本番のレースでも結果を出せたように思います。学年別ではスピード練を十分に積める時間がなかったこともあり、思うように記録が出なかった人が多かったですが、来年の春シーズンに向けて、新パート長赤坂を中心に冬期練に励み、全員でレベルアップしていきたいと思っています。

文責 中距離パート長 武田大輝（3）

長距離パート

暑い夏の鍛錬を経て、駅伝のシーズンがやって来ました。長距離にとっては、びわ湖大学駅伝出場をかけた予選会がある重要な時期となりました。9月に行われた六公立戦では、1500m・5000mとも1着はとれたものの、兵庫県立大と同点という結果に終わってしまいました。しかし、記録面でみると、ポイント、オープンとも好記録をだす選手が続出し、予選会につながる良い刺激となりました。予選会では、10人中7人がベスト。去年よりも平均タイムが約20秒速く、全員が力を出し切ったにもかかわらず、結果は8位と本選出場には届きませんでした。予選通過校との差は6分半と、レベルがまたさらに一段と上がり、大きな実力差を感じさせられました。来年、予選突破のためには、やはり、予選会を絶対突破するという気持ちが一番重要になってくると思います。今回の結果を悔しさだけで終わらせずに、目の色を変えて、これからまた練習していきたいと思います。10月末に行われた学年別選手権では、スピード練習の不足もあり、思うように結果を出せませんでした。これからは5000mメインの練習をしていきつつ、ロードでの練習をこなし、12月5日（日）に行われる京都学生駅伝に向けて練習に励みます。

最後になりましたが、忙しい中応援に来て下さった、OB・OGの皆さん本当にありがとうございました。一生懸命に練習に励みますので、これからもどうか暖かいご声援を宜しくお願いします。

文責 長距離パート長 北川拓哉（3）

女子中距離パート

9月の関西学生女子駅伝に向けて、夏休みと夏合宿は女子駅伝パートでスタミナづくりに励み、去年よりよい成績を収めることができました。駅伝後は学年別選手権に向けてスピード強化に取り組み、大幅な伸びを期待していたのですが、春とあまり変わらないタイムになってしまいました。今後は駅伝で培われた持久力と学年別の悔しさを踏み台にして、スピード持久力を向上させ、冬の大会や来シーズンに向けて新パート長関岡のもとで頑張るつもりです。目標は関西インカレ標準突破、学年別選手権決勝進出です。ご声援よろしくお願いたします。最後になりましたが一年間中距離女子パート長を務めさせていただきとても光栄でした。ありがとうございます。

文責 女子中距離パート長 小川瑠美（3）

女子長距離パート

今年度は中長距離女子で駅伝に初出場でき、躍進の年であったと言えます。しかし、目標としていた襷リレーが行えなかったり、個人種目でベストを出した選手は少なかったりと、残念な結果に終わってしまいました。これは継続的な練習が出来ていても、故障や体調不良のために積み重ねてきたものが途切れてしまったことが原因であるといえます。

これを踏まえ、冬季は走りこみと補強による基礎体力の向上を目指し、駅伝での長距離区間も楽に走れる選手になるべく努力していきたいと思います。

また、10月をもって2年間務めたパート長を交代します。先輩方からのアドバイスのおかげで、人数が少ないながらも工夫して質の高い練習をすることが出来ました。本当にありがとうございました。これからは二回生の西村がチームを引っ張ります。かわらぬご声援、よろしくお願いします。

文責 女子長距離パート長 大石真由香（3）

フィールドパート

多くの選手が夏季のトレーニングを発揮するために六公立戦や関西学年別選手権、地方の大会と多くの大会に出場し、すばらしい結果を期待できる時期でした。

六公立戦では、ほとんどの種目で1位をとることができ、勝ち越すことができました。しかし、関西学年別選手権では、1回生がベスト記録や、ベストに近い記録を出す中、上回生の記録があまり振るいませんでした。記録を出すことができた選手は、更なる高みを目指して、記録がでなかった選手は、この記録を真摯に受け止め、今から冬季のトレーニング期間に入っていきたいと思います。来年の春には、一皮むけたフィールドパートをOB・OGさんの皆さまに見せることができるよう、パート一丸となって練習に励みたいと思っています。OB・OGの皆さま、ご支援、ご声援よろしくお願いします。

文責 フィールドパート長 山中敬雄（2）

5. 連絡事項

- 12月11日（土）に大阪府立体育館多目的ホールBにおきまして、幹部交代式、OB総会を開催いたします。
- 同日の午後6時30分より難波の『羅漢』で忘年会を開催いたします。

ご都合がよろしければ御参加のほどお願いします。